

2025 年 12 月 12 日

報道関係各位

GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」、 Oracle EBS と SAP の深刻な脆弱性に緊急対応

～該当製品の利用を検知、ランサムウェア攻撃につながる脆弱性の確認・対策を支援～

GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社（代表取締役 CEO：牧田 誠 以下、GMO サイバーセキュリティ by イエラエ）は、2025 年 12 月 9 日、外部公開 IT 資産を自動で棚卸し・可視化するアタックサーフェスマネジメント^(※1)（Attack Surface Management、以下 ASM）ツール「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」をアップデートし、「Oracle E-Business Suite（Oracle EBS）」および「SAP NetWeaver」の利用と本脆弱性が悪用される可能性のある機能を検知した場合に、深刻な脆弱性が存在する可能性を通知する診断項目を追加しました。

これにより、「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」の利用者は、ランサムウェア攻撃など悪用が確認されている深刻な脆弱性「Oracle E-Business Suite の任意コード実行（CVE-2025-61882）」と、「SAP NetWeaver のファイルアップロード脆弱性（CVE-2025-31324）」に関連する製品が自社環境に含まれている場合、脆弱性の確認や対策方針の検討を優先的に行うことが可能になります。

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」で対応した 2 つの脆弱性は、すでにサイバー攻撃での悪用が確認されている脆弱性であり、本脆弱性が存在するソフトウェアの利用者は、速やかな対応が必要です。

GMO
サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM

Oracle EBS と SAP の
深刻な脆弱性に対応

GMO CYBER SECURITY
IERAE

(※1)インターネットに公開されているサーバーやネットワーク機器など IT 資産の情報を収集・分析することにより、不正侵入経路となりうる脆弱性やそのリスクを検出・評価する取り組みのこと。

【「Oracle E-Business Suite」の任意コード実行（CVE-2025-61882）】

2025 年 10 月 5 日に公開された本脆弱性（CVE-2025-61882）は、Oracle 社が基幹システム向けに提供する製品「Oracle E-Business Suite」の脆弱性です。認証不要で任意コード実行が可能となり、CVSS スコア^(※2)も 9.8（Critical）と非常に危険性が高い脆弱性です。「Oracle E-Business Suite」は、世界中の中堅から大規模企業に導入されており、利用社数は数万社に及ぶとみられています。

本脆弱性はすでに脆弱性の悪用が確認されており、米サイバーセキュリティインフラストラクチャセキュリティ庁（CISA）によって「悪用が確認された脆弱性カタログ（KEV）」^(※3)に登録されています。ランサムウェア攻撃の標的となった事例も確認されており、極めて深刻な状況です。

提供元である Oracle 社も緊急アラートを発出しており、利用者は速やかな対応に対応することが求められます。今回のアップデートにより「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」は、「Oracle E-Business Suite」の利用と本脆弱性が悪用される可能性のある機能を検知した場合に、深刻な脆弱性が存在する可能性を通知します。現状のリスク状態を通知するため、「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」の利用者は対策方針の決定を優先的に行うことが可能になります。

(※2)ソフトウェアやシステムに存在する「脆弱性（セキュリティ上の欠陥）」の深刻度を、0.0 から 10.0 の数値で表す国際的な標準指標

(※3) CISA:Known Exploited Vulnerabilities Catalog <https://www.cisa.gov/known-exploited-vulnerabilities-catalog>

【「SAP NetWeaver」のファイルアップロード脆弱性（CVE-2025-31324）】

2025 年 4 月 24 日に公開された本脆弱性（CVE-2025-31324）は、SAP 社が基幹システム基盤として提供する SAP 製品群の一部である「SAP NetWeaver（Visual Composer / Metadata Uploader）」の脆弱性です。認証不要で任意ファイル（悪意のあるスクリプトなど）をアップロードでき、結果としてリモートコード実行（Remote Code Execution、RCE）に至る可能性があります。CVSS スコアは最大値の 10.0（Critical）と極めて危険性が高い脆弱性です。

SAP システムは世界中の大企業や官公庁を中心に利用され、財務・人事をはじめ企業活動を支える重要なシステムであることから、脆弱性がもたらす影響は非常に大きいと考えられます。本脆弱性を悪用されると、ビジネスプロセスの中断や機密情報を含むデータの漏えいなど、深刻な被害につながる可能性があります。

すでに本脆弱性を悪用した攻撃も確認されており、米国サイバーセキュリティ・インフラストラクチャセキュリティ庁（CISA）が公開する「悪用が確認された脆弱性カタログ（KEV）」^(※3)に掲載されています。この状況を踏まえ、利用者は速やかな対策を講じることが求められています。こちら、今回のアップデートにより「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」は、「SAP NetWeaver」の利用と本脆弱性が悪用される可能性のある機能を検知した場合に、深刻な脆弱性が存在する可能性を通知します。現状のリスク状態を通知するため、「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」の利用者は対策方針の決定を優先的に行うことが可能になります。

【「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」アップデート概要】

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」では、深刻な脆弱性「CVE-2025-61882」および「CVE-2025-31324」への対応として、新たに以下の診断項目を追加しました。これにより本サービスの利用者は、当該脆弱性が自社システムに存在するかどうかを優先的に確認し、迅速な対応判断を行うことが可能になります。

「Oracle E-Business Suite」と「SAP NetWeaver」の利用検知	「Oracle E-Business Suite」と「SAP NetWeaver」の利用および本脆弱性が悪用される可能性のある機能を検知した場合に、深刻な脆弱性が存在する可能性を通知します。
--	---

【「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」について】

(https://product.gmo-cybersecurity.com/net-de-shindan/lp_enterprise/)

「GMO サイバー攻撃ネット de 診断 ASM」は、簡単かつ直感的に使用が可能なセキュリティプラットフォームです。国産 ASM ツールとして培ってきた「IT 資産の棚卸しとリスク可視化」の強みを活かしながらも、ASM ツールの枠にとどまらず「複雑化するセキュリティ運用をシンプルにし、“何から対策すべきか”を可視化する」というビジョンの実現を目指しています。セキュリティ知識を問わず、お客様が最も優先すべき対策を一目で把握できるよう導きます。

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエについて】

(<https://gmo-cybersecurity.com/>)

GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、国内最大規模のホワイトハッカーで組織されたサイバーセキュリティのプロフェッショナルカンパニーです。会社理念である「人を助ける信念を守るチカラに変えていく」ために今後も最先端の技術と実践的な教育を通じて、日本のサイバーセキュリティの強化に貢献していきます。また、「世界一のホワイトハッカーの技術力を身近に」を目指して、各種脆弱性診断、ペネトレーションテスト、セキュリティコンサルタント、SOC サービス、フォレンジック調査まで包括的にサイバーセキュリティ対策サービスをご提供します。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

マーケティング部 広報担当 伊礼・棚田

TEL : 03-6276-6045

E-mail : pr@gmo-cybersecurity.com

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 田部井

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ : <https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社】(URL : <https://gmo-cybersecurity.com/>)

会 社 名	GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役 CEO 牧田 誠
事 業 内 容	■ Web アプリ及びスマホアプリ脆弱性診断 ■ ペネトレーションテスト ■ 不正利用(チート)診断 ■ IoT 脆弱性診断 ■ 自動車脆弱性診断 ■ フォレンジック調査 ■ CSIRT 支援 ■ クラウドセキュリティ診断 ■ クラウドセキュリティ・アドバイザリー
資 本 金	1 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL : <https://www.group.gmo/>）

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 （東証プライム市場 証券コード：9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	<p>持株会社（グループ経営機能）</p> <p>■グループの事業内容</p> <p>インターネットインフラ事業</p> <p>インターネットセキュリティ事業</p> <p>インターネット広告・メディア事業</p> <p>インターネット金融事業</p> <p>暗号資産事業</p>
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2025 GMO Cybersecurity by Ierae, Inc. All Rights Reserved.